

た、工夫などにわたって書かれた『遊び十
二ヵ月』という最新出版の書物の紹介でも
あるが、遊びの大切なこと、遊びこそ指導
すべきということが述べられ、参考にな
る。とかく幼稚園へいくと何か教育される
ことを要求され、また実行しているこの頃
に、遊びの大切なことが取り上げられたこ
とは保育を反省するよい機会を与えてもら
ったようである。この文面だけでは遊びの
考え方に、やや疑問を持つ点もあるが、そ
の点内容をみなくてはという筆者の書物紹
介の観点かもしれない。

月刊保育カリキュラム

この本の一月のカリキュラムの単元は
「冬をたのしく」となっており、ねらいは、
(一)寒さにうちかつ戸外あそびのいろいろ
を工夫させる。
(二)経験したことをすすんで発表させる。
となっている。

形式は月案としてあげられていて、その
ために月案にあげられた各保育内容の具体
的な説明となっている。

そこで今月は寒いときでもあり、健康の
ところであげられている「戸外あそび」の
項を紹介することにする。

戸外あそびといっても、いわゆるぶらん
こなどの遊具を使っての自由あそびではな
く、ある程度のルールのある団体あそびで
ある。とくに入学前の年齢の幼児などは、
こういう遊びを喜び、また先生の指導のは
いった遊びにみんなが参加する、参加でき
るといいうことも、ある程度大切なのではな
からうか。

ここでは十一にわたる鬼ごっこがあげら
れていて、中には「そうそう、こんなのも
あった」といままさら、思い出すものもあ
り、手つなぎ鬼、からかい鬼、けん鬼、場
所とり鬼、ひょうたん鬼などもおもしろ
い。

幼児の教育 第五十六巻 第四号

◎ 定価 五十円

昭和三十二年三月二十五日印刷

昭和三十二年四月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内
編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売
所フレーベル館にお願い致します。